



Vol.160

## CONTENTS

- 【コラム】2025年—共通テスト「情報」元年にあたって…中山 泰一  
【解説】「情報」でつなぐ・「情報」をつなぐ～情報入試と高大接続の取り組み～…井上 智生  
【解説】やまなし情報教育推進室の挑戦…稲垣 俊介



## COLUMN

### 2025年—共通テスト「情報」元年にあたって

2025年1月19日、大学入学共通テストで「情報Ⅰ」が出題されます。2022年度から高等学校で実施されている学習指導要領では、情報科は、情報の科学的な理解に重点を置き、「情報Ⅰ」を必修科目とした上で、発展的内容を扱う「情報Ⅱ」を選択科目として設定しました。2025年3月に卒業するすべての高校生が「情報Ⅰ」を学んでいることから、2025年度の大学入学共通テストで情報を出題教科として、「情報Ⅰ」をその科目とすることとなりました。

つまり、2025年は共通テスト「情報」元年です。2024年7・8月に実施された河合塾第2回全統共通テスト模試では、総受験者32万7千人のうち、21万6千人が「情報Ⅰ」を受けました<sup>☆1</sup>。年内に入学する大学が決まった人がいるかもしれませんが、それでも2025年度の大学入学共通テストでは20数万人が「情報Ⅰ」を受けると考えられます。

個別入試では、国公立大学3校、私立大学49校が「情報」を出題します<sup>☆2</sup>。河合塾キミのミライ発見<sup>☆3</sup>には、電気通信大学、広島市立大学、京都産業大学、日本大学、南山大学の試作問題・模擬問題が掲載されています。

筆者の本務校の電気通信大学でも2025年度から個別入試で「情報」を出題します。これは国立大学では6校目に当たります。国立大学の個別入試で「情報」を最初に出題したのは弘前大学で1997年度でした<sup>☆4</sup>。本稿を執筆する機会に、公文書公開手続きにより学生募集要項を入手してみました。開示された学生募集要項により、1997年2月25日の弘前大学理学部情報科学科の個別入試で、「数学Ⅲ」と「情報技術基礎」とを選択で受験できたことが確かめられました。また、2001年度まで「情報技術基礎」が出題されたことも、学生募集要項により確かめられました。

さらに、個別入試で「情報」を出題した愛知教育大学（2006年度から2012年度まで出題）、奈良女子大学（2008年度から2010年度まで出題）の学生募集要項も開示されました。しかしながら、東京農工大学（2006年度から2010年度まで出題）の学生募集要項は、保存期間が経過して廃棄したとの理由で開示されませんでした。また、高知大学（2011年度から現在まで出題）の2011年度の学生募集要項も保存期間が経過したとの理由で開示されませんでした。

そこで、共通テスト「情報」元年にあたって、特に「情報」を出題する大学の皆様に、お願いします。20年後、30年後に、大学情報入試の歴史の研究がされることが考えられます。記念すべき元年の記録がないとさびしいです。「情報」の出題がされた様子を後世に文献で残してください。本会の学会誌、研究会報告、論文誌などに執筆して残してください。そして、共通テスト「情報」元年を境に、大学情報入試が大きく発展したとってくれることを、強く願っています。

☆1 河合塾全統模試案内：成績統計資料データ、<https://www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/>

☆2 河合塾キミのミライ発見：2025年春 教科「情報」による個別学力検査・一般入試を実施する大学、<https://www.wakuwaku-catch.net/nyushi240801/>

☆3 河合塾キミのミライ発見：2025年度一般入試 試作問題・模擬問題、<https://www.wakuwaku-catch-mondai.net/question/>

☆4 中山泰一：1990年代の大学情報入試の動きについて、<http://id.nii.ac.jp/1001/00237758/>



中山泰一（電気通信大学）（正会員） nakayama@uec.ac.jp

1993年東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。同年より電気通信大学において、計算機システム、並列分散処理、情報教育の研究に従事。現在、同大学院情報理工学研究所教授。本会では教育担当理事、事業担当理事などを歴任。2017年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞受賞。国立情報学研究所客員教授。日本学術会議連携会員。本会フェロー。